資　料　３－３

要点審議事業

道路事業　再評価

一般国道4号　大衡道路（おおひらどうろ）

令和2年10月30日
国土交通省　東北地方整備局

1. 事業の目的と概要　一般国道4号　大衡道路（おおひらどうろ）

新規事業採択後5年経過

○事業目的

・渋滞緩和による円滑な物流の確保
・交通事故の減少による地域住民の安全性向上
・東北自動車道の代替路機能強化による時間信頼性の確保

○計画概要

起終点	:自:宮城県黒川郡大衡村大衡柏木 至:宮城県黒川郡大衡村駒場字蕨崎
延長（開通済）	:4．5km
幅員	:24m
道路規格	:第3種第1級
設計速度	:80km／h
都市計画決定	:平成28年1月
事業化	:平成28年度
用地着手	:平成30年度
工事着手	:令和元年度

事業費・進捗率

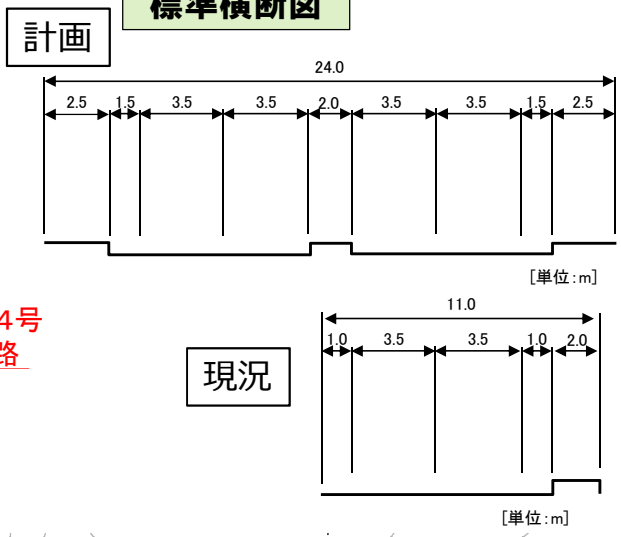
全体事業費 （うち用地補償費）	執行済み額 （うち用地補償費）	全体進捗率※ （用地進捗率）	H27新規事業 採択時 （用地補償費）
79億円 （31億円）	10億円 （1億円）	13% （3%）	79億円 （31億円）

※進捗率は令和2年3月末時点

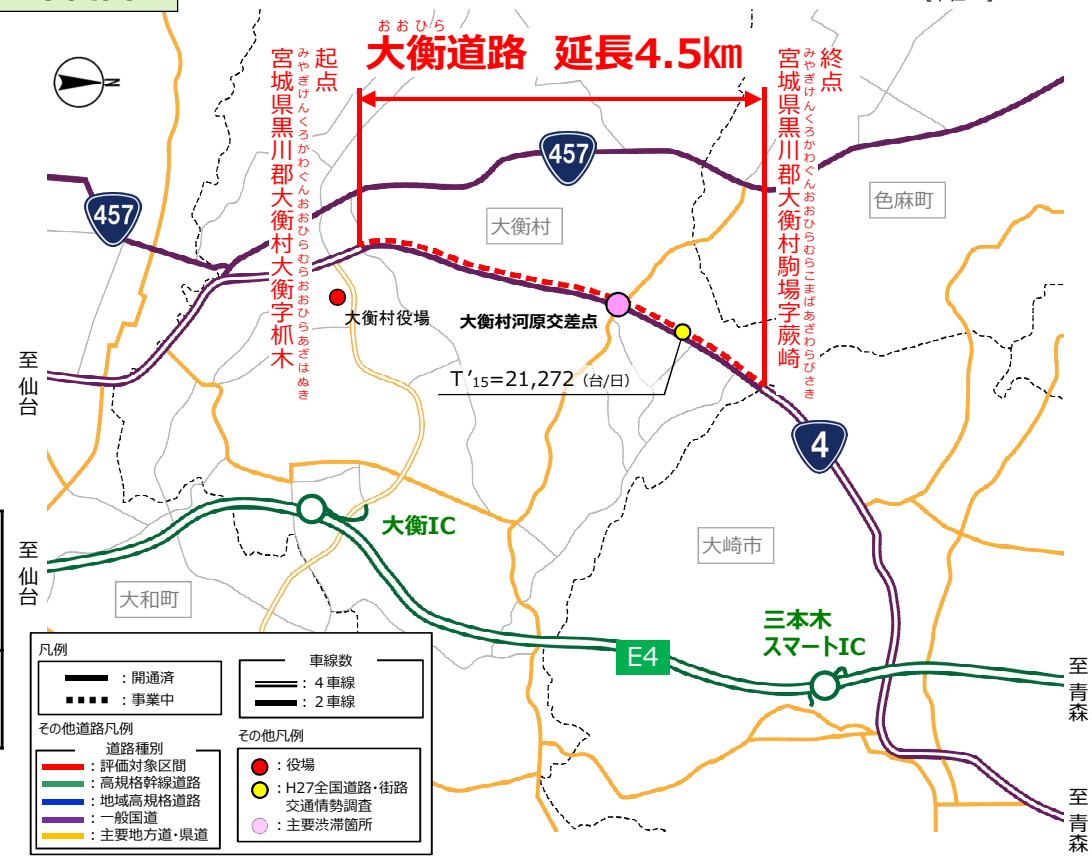
位置図



標準横断図



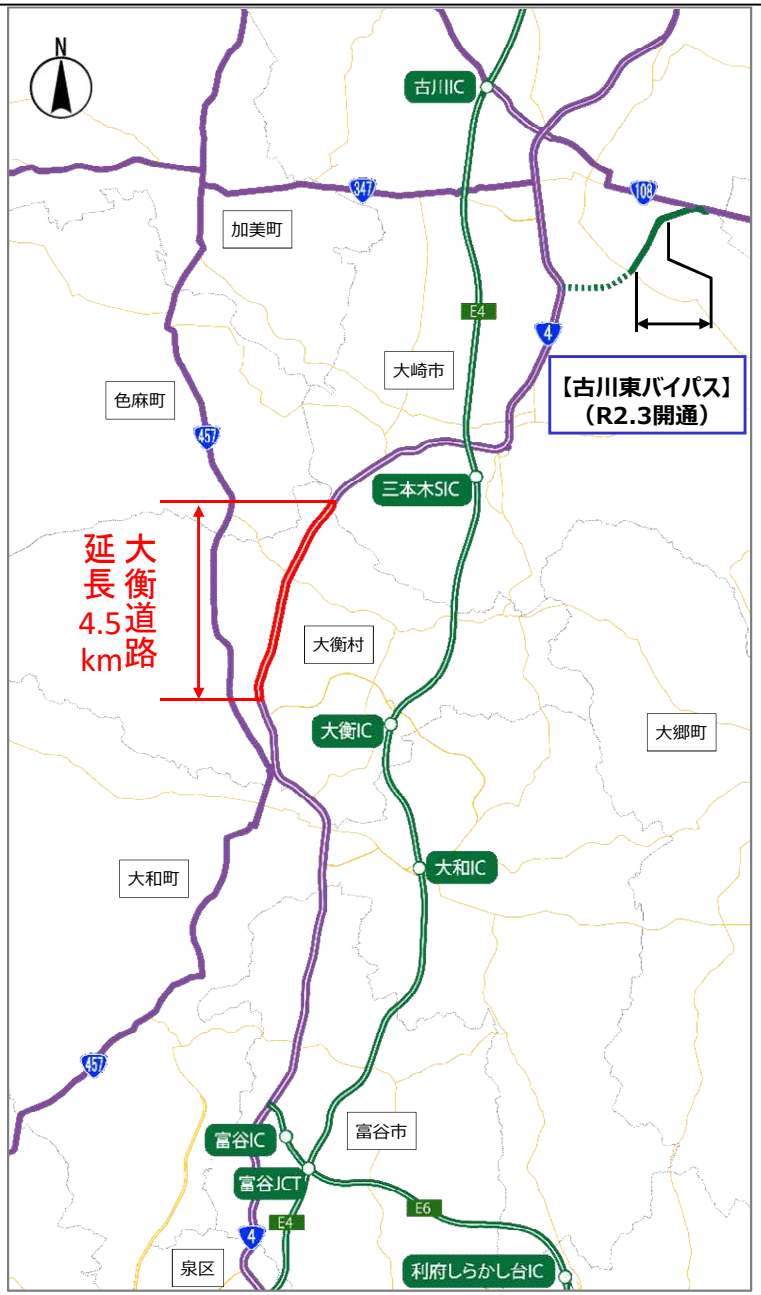
平面図



2. 前回評価時からの周辺環境等の変化

◆令和2年3月に国道108号古川東（ふるかわひがし）バイパスの一部区間（1.2km）が開通。





凡例
- ：開通済
- ：事業中
- ：前回評価時からの変更箇所

その他道路凡例

道路種別
- ：評価対象区間
- ：高規格幹線道路
- ：地域高規格道路
- ：一般国道
- ：主要地方道・県道

車線数
- ：6車線
- ：4車線
- ：2車線

3. コスト縮減の取組み事例 （側道計画の見直し）

■側道計画の見直し（－0．02億円）

○当初計画：0．12億円

当初は、側道にL型擁壁を設置予定。

○変更計画：0．10億円

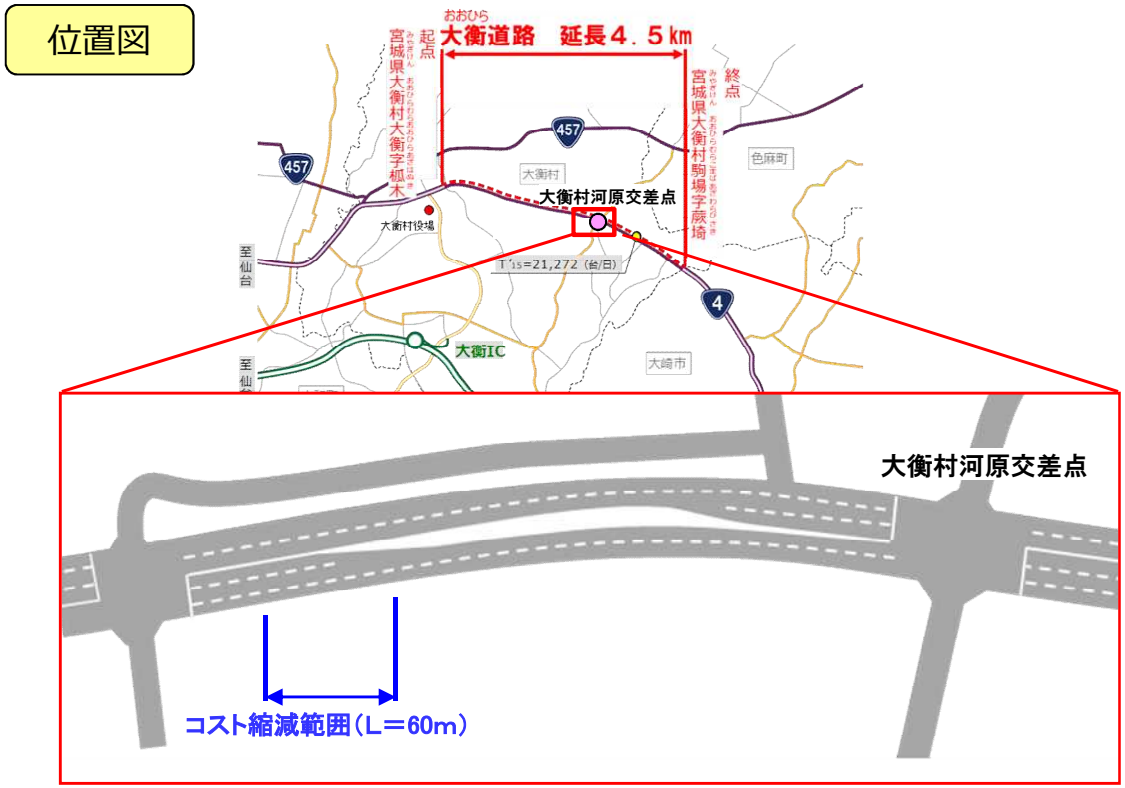
側道の縦断計画を見直し、L型擁壁を省略。

機能補償のため設置する側道については、国道への乗り入れが容易になるよう高低差が無いように計画。

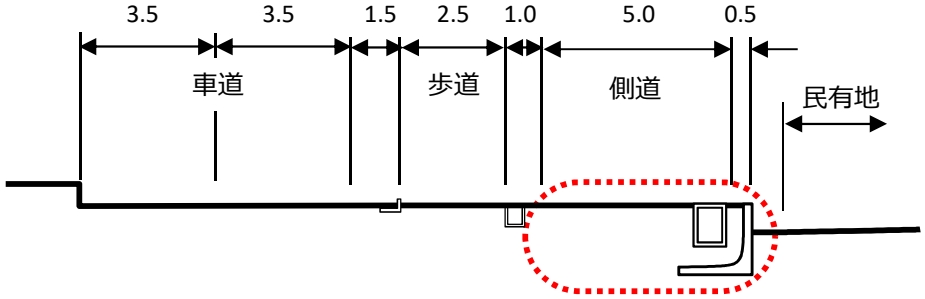
地元協議の結果、民有地との乗り入れが容易となるような構造への見直しを実施。

	当初	見直し	変動
側道の見直し	0.12億円	0.10億円	−0.02億円
合　計	0.12億円	0.10億円	−0.02億円

位置図



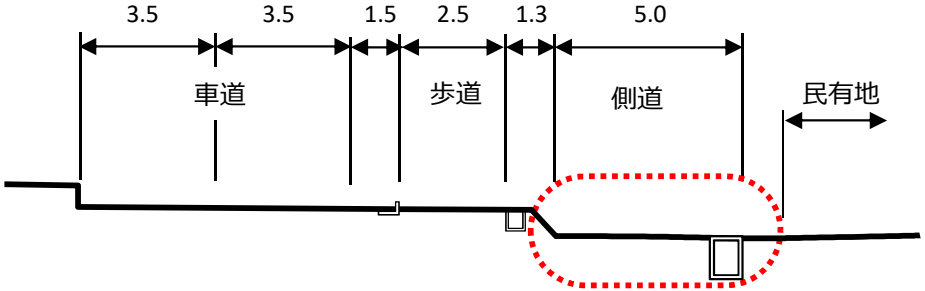
横断図　【当初】



※機能補償の側道は国道への乗り入れを考慮し、国道との高低差が無いように計画。

側道の縦断計画を見直し、L型擁壁を省略。

横断図　【変更】



※地元協議の結果、民有地への乗り入れを考慮した構造に変更。

4. 事業の投資効果

R2今回（全体）

●B／C＝1．7

〇計画交通量（R12）　26，900台／日
〇純現在価値（ENPV）　60億円
〇経済的内部収益率（EIRR）　7．6%

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋1年	－1年
費用C（現在価値）	***83***	***83***	***83***	***88***	***78***	***82***	***84***
事業費（億円）	68	68	68	73	63	68	68
維持修繕費（億円）	15	15	15	15	15	14	16
便益B（現在価値）	***143***	***162***	***126***	***143***	***143***	***137***	***150***
走行時間短縮便益（億円）	131	148	115	131	131	125	137
走行経費減少便益（億円）	9.9	11	8.9	9.9	9.9	9.5	10
交通事故減少便益（億円）	2.3	2.5	2.3	2.3	2.3	2.2	2.4
費用便益比　B／C	***1.7***	***1.9***	***1.5***	***1.6***	***1.8***	***1.7***	***1.8***

※基準年（令和2年度）における現在価値換算した金額

R2今回（残事業）

●B／C＝2．3

〇計画交通量（R12）　26，900台／日
〇純現在価値（ENPV）　81億円
〇経済的内部収益率（EIRR）　10．8%

基本ケース	感度分析					
	交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
	＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋1年	－1年
62	***62***	***62***	***67***	***57***	***62***	***63***
47	47	47	52	42	47	47
15	15	15	15	15	14	16
143	***162***	***126***	***143***	***143***	***137***	***150***
131	148	115	131	131	125	137
9.9	11	8.9	9.9	9.9	9.5	10
2.3	2.5	2.3	2.3	2.3	2.2	2.4
2.3	***2.6***	***2.0***	***2.1***	***2.5***	***2.2***	***2.4***

※基準年（令和2年度）における現在価値換算した金額

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

H27新規採択時評価

●B／C＝1．8

〇計画交通量（H42）　27，300台／日

5. 事業の必要性に関する視点

1）事業を巡る社会情勢等に関する視点

事業目的である渋滞の緩和、交通事故の削減、東北縦貫自動車道の迂回機能確保が必要な状況に変化はない。

2）事業の投資効果　　B/Cは事業全体で1.7、残事業で2.3を確保。

3）事業の進捗状況

道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収を推進。昨年度より改良工事に着手。

6. 事業の進捗の見込みの視点

○令和元年度より工事着手

○開通時期は、完成に向けた事業実施環境が整った段階で確定予定。

7. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

○側道の縦断計画見直しによるコスト縮減を図るとともに、引き続きコスト縮減を検討しながら事業を推進していく。

8. 地方公共団体等の意見

○宮城県知事の意見

「対応方針（原案）」のとおり「継続」で意義ありません。

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見書

○　一般国道4号は、東日本の縦の大動脈として東北全般の産業経済活動や地域間交流を支える、極めて重要な役割を担う幹線道路であり、東日本大震災においては、並行する東北縦貫自動車道とともに、被災地への支援活動にも大きな役割を果たした。

○　評価対象の大衡道路は、慢性的な渋滞が発生し、特に冬期においては、東北縦貫自動車道が通行止めとなった際の代替路として、激しい渋滞が生じるなど、交通混雑が課題となっており、4車線化の早期完成が望まれている路線である。

○　今回の再評価においては、全体事業費や事業期間について、当初計画通りの事業実施が見込まれており、「対応方針（原案）」案に対して異議は無い。引き続き、コスト縮減に最大限配慮いただき、一日も早い完成に向けて事業の進捗を図っていただきたい。

9. 対応方法（原案）

事業継続

（理由）　渋滞の緩和、交通事故の削減、東北縦貫自動車道の迂回機能確保のため早期整備の必要性が高い。

10. 事業の進捗状況

一般国道4号　大衡道路　工事進捗状況









凡　例	
	対象区間
	高速道路
	一般道
	主要地方道
	一般都道府県道
	主要渋滞箇所
	死亡事故発生箇所
交通量台/日	交通量（H27センサス）
	市街地
	工業団地
○○施設	主な施設
	市町村境界線

凡例　R2.9月　現在

施工中 | 施工済み | 着工前

